

記入例

施設等(実験室)設置承認申請書

平成××年×月×日

三重大学長 殿

所属部局等 部局名 ××学部
部局長氏名 三重太郎

印

三重大学動物実験取扱規程第10条の規定に基づき、下記の実験室設置の承認について申請します。

受付年月日 平成××年×月×日

受付番号

1. 実験室の名称	三重大学××学部××学講座動物実験室
2. 実験室の管理体制	<実験室管理者>(例:教室主任者等) 所属 ××学講 職名 教授 氏名 津 一郎 連絡先 内線××××
3. 実験室の概要	1) 実験室 部屋番号 総合研究棟I403号 使用面積 ×× m ² 2) 実験に使用する実験動物種: マウス、ラット 3) 実験設備(特殊装置の有無等): 有り(3重構造低酸素チャンバー) 4) 逸走防止策(前室の有無、窓や排水口の封鎖など): 実験中は、動物ケージ周囲に返し板を設置し、実験室内逸走を防止している。また、実験中に室内逸走が起こった場合でも、ドアや窓の施錠閉鎖、排水溝の金網による被覆などにより室外逸走の防止策を取っている。 5) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺への悪影響防止策: 適当な換気装置により、臭気を防止している。騒音はほとんど発生しないが壁を厚くし周囲への悪影響を防止している。廃棄物は、生体材料と非生体材料に分別し、速やかに処分している。実験台上や動物ケージ周囲には、飛散防止シートを敷き、排泄物や血液等による汚染拡散を防止している。定期的に、アルコール消毒等によって清掃し、清潔な状態を保っている。 6) 実験動物の滞在時間(原則として48時間以内) 時間
4. 特記事項(例:化学的危険物質、病原体、遺伝子組み換え生物等を扱う場合等の設備構造の有無等)	1) 毒劇物の使用: しない する 組織標本を得るため、パラホルムアルデヒドを使用する。 2) 病原体の使用: しない する 3) 遺伝子組み換え生物の使用: しない する トランスジェニックマウスを使用する。出入り口に、遺伝子組換え動物使用中であることを表示している。 4) その他 なし
5. 委員会記入欄	調査月日: 平成××年×月×日 調査結果: 申請された実験室は規程に適合する。 (条件等 改善後、使用開始すること。) 申請された実験室は規程に適合しない。 意見等
6. 学長承認欄	本申請を承認します。 承認日: 平成××年×月×日 承認番号: 第 ××××× 号 三重大学長

資料添付

- 1) 実験室の位置を示す地図
- 2) 実験室の平面図
- 3) 管理マニュアル